

# 高石商工会議所景気観測調査

2017年12月調査

## 調査概要

○調査対象：高石市内 41社

(業種内訳 製造業10社、建設業9社、小売業・卸売業9社、  
飲食業6社、サービス業7社)

○調査時期：2017年12月

○調査項目：業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員(人手)状況

○調査方法：「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

## ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。（仕入単価については、下落をプラス要素、上昇をマイナス要素としている。）

各DIが示す内容	プラス	マイナス
業況	好転	悪化
売上高	増加	減少
採算	好転	悪化
資金繰り	好転	悪化
仕入単価	下落	上昇
従業員	不足	過剰

(例) 業況 好転 40% 不変 35% 悪化 25%

$40 - 25 = 15$  業況判断 DI=15

## 全体

高石市全体では、売上高判断DIがマイナスに転じ、業況、採算、資金繰り、仕入単価も前期に引き続きDIがマイナスとなり、景気の悪化が懸念される。従業員判断DIも拡大し、すべての業種で人手不足感が続く。

来期については、マイナス水準は続くが、売上高、資金繰り、仕入単価に改善傾向が見られるが、来期の業況にはまだ反映されない見通しとなった。

全体 DI 値の推移（前年同月比）

	前期		今期		来期見通し H30. 1 ～3 月期
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 12 月期		
業 況	▲ 8.7	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 17.1	▲ 17.1
売 上 高	0.0	7.0	▲ 9.8	▲ 7.3	▲ 7.3
採 算	4.3	▲ 16.3	▲ 17.1	▲ 17.5	▲ 17.5
資金繰り	▲ 4.3	▲ 14.0	▲ 9.8	▲ 5.0	▲ 5.0
仕入単価	▲ 48.9	▲ 51.2	▲ 46.3	▲ 39.0	▲ 39.0
従 業 員	23.9	23.8	27.5	25.0	25.0

### ○業況について

2017年12月期の高石市内全業種の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は5社(12.2%)、「不変」と回答した企業は27社(65.9%)、「悪化」と回答した企業は9社(22.0%)である。全業種の業況判断(DI)は、▲9.8(前期比7.4ポイント減)とマイナス幅が拡大し、さらに悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	数	割合	数	割合
好転	5	12.2%	2	4.9%
不変	27	65.9%	30	73.2%
悪化	9	22.0%	9	22.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は2社(4.9%)、「不変」と回答した企業は30社(73.2%)、「悪化」と回答した企業は9社(22.0%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲17.1(今回調査より7.3ポイント減)となり、マイナス幅が拡大し、さらに悪化するとの見通しとなった。

### ○売上高の動き

2017年12月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は9社(22.0%)、「不変」と回答した企業は19社(46.3%)、「減少」と回答した企業は13社(31.7%)である。売上高判断(DI)は、▲9.8(前期比16.7ポイント減)とマイナスに転じ、悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	数	割合	数	割合
増加	9	22.0%	9	22.0%
不変	19	46.3%	20	48.8%
減少	13	31.7%	12	29.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は9社(22.0%)、「不変」と回答した企業は20社(48.8%)、「減少」と回答した企業は12社(29.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、▲7.3(今回調査より2.4ポイント増)とマイナス水準ながら、やや改善するとの見通しとなった。

### ○採算の状況

2017年12月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は4社(9.8%)、「不変」と回答した企業は26社(63.4%)、「悪化」と回答した企業は11社(26.8%)である。採算状況判断(DI)は、▲17.1(前期比0.8ポイント減)とマイナス水準のまま悪化が続いた。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	数	割合	数	割合
好転	4	9.8%	4	10.0%
不変	26	63.4%	25	62.5%
悪化	11	26.8%	11	27.5%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は4社(10.0%)、「不変」と回答した企業は

25社(62.5%)、「悪化」と回答した企業は11社(27.5%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、17.5(今回調査より0.4ポイント減)となり、僅かながら悪化傾向が進むとの見通しとなった。

#### ○資金繰りの状況

2017年12月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(4.9%)、「不変」と回答した企業は33社(80.5%)、「悪化」と回答した企業は6社(14.6%)である。資金繰り判断(DI)は、▲9.8(前期比4.2ポイント増)とマイナス幅が縮小し、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	2	4.9%	2	5.0%
不変	33	80.5%	34	85.0%
悪化	6	14.6%	4	10.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は2社(5.0%)、「不変」と回答した企業は34社(85.0%)、「悪化」と回答した企業は4社(10.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲5.0(今回調査より4.8ポイント増)とマイナス幅が縮小し、やや改善するとの見通しとなった。

#### ○仕入単価の動き

2017年12月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は3社(7.3%)、「不変」と回答した企業は16社(39.0%)、「上昇」と回答した企業は22社(53.7%)である。仕入単価判断(DI)は、▲46.3(前期比4.8ポイント増)とやや改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	3	7.3%	1	2.4%
不変	16	39.0%	23	56.1%
上昇	22	53.7%	17	41.5%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は1社(2.4%)、「不変」と回答した企業は23社(56.1%)、「上昇」と回答した企業は17社(41.5%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲39.0(今回調査より7.3ポイント増)とマイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

#### ○従業員について

2017年12月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は11社(27.5%)、「不変」と回答した企業は29社(72.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、27.5(前期比3.7ポイント増)となり、人手不足感が強まった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	11	27.5%	10	25.0%
不変	29	72.5%	30	75.0%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は10社(25.0%)、「不変」と回答した企業は30社(75.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、25.0(今回調査より2.5ポイント減)となり、やや人手不足感は解消に向かうとの見通しとなった。

## 製造業

製造業では、業況、売上高、採算、資金繰り、仕入単価において前年同月より悪化している。前期(9月期)に比べても、採算は改善しているものの、更なる悪化傾向が見られる。従業員については不足感が続く。

来期の見通しについては、採算が悪化するが、業況、売上高、資金繰り、仕入単価については好転する見通しとなった。

製造業 DI 値の推移 (前年同月比)

	前期		今期	来期見通し
	H29. 7月期	H29. 9月期	H29. 12月期	H30. 1 ~3月期
業況	0.0	11.1	▲ 10.0	▲ 20.0
売上高	9.1	▲ 22.2	▲ 30.0	0.0
採算	18.2	▲ 22.2	▲ 10.0	▲ 20.0
資金繰り	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 30.0	▲ 20.0
仕入単価	▲ 54.5	▲ 77.8	▲ 80.0	▲ 40.0
従業員	27.3	22.2	20.0	20.0

### ○業況について

2017年12月期の製造業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(20.0%)、「不変」と回答した企業は5社(50.0%)、「悪化」と回答した企業は3社(30.0%)である。業況判断(DI)は▲10.0(前期比21.1ポイント減)と悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	2	20.0%	1
不変	5	50.0%	6	60.0%
悪化	3	30.0%	3	30.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は6社(60.0%)、「悪化」と回答した企業は3社(30.0%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲20.0(今回調査より10.0ポイント減)となり、さらに悪化するとの見通しとなった。

### ○売上高の動き

2017年12月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は5社(50.0%)、「減少」と回答した企業は4社(40.0%)である。売上高判断(DI)は、▲30.0(前期比7.8ポイント減)と悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	増加	1	10.0%	2
不変	5	50.0%	6	60.0%
減少	4	40.0%	2	20.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(20.0%)、「不変」と回答した企業は6社(60.0%)、「減少」と回答した企業は2社(20.0%)である。来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査より30.0ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

### ○採算の状況

2017年12月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は7社(70.0%)、「悪化」と回答した企業は2社(20.0%)である。採算状況判断(DI)は、▲10.0(前期比12.2ポイント増)と改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	1	10.0%	1
不変	7	70.0%	6	60.0%
悪化	2	20.0%	3	30.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は6

社(60.0%)、「悪化」と回答した企業は3社(30.0%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲20.0(今回調査より10.0ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

#### ○資金繰りの状況

2017年12月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(70.0%)、「悪化」と回答した企業は3社(30.0%)である。資金繰り判断(DI)は、▲30.0(前期比7.8ポイント減)となり、さらに悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	7	70.0%	8	80.0%
悪化	3	30.0%	2	20.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(80.0%)、「悪化」と回答した企業2社(20.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲20.0(今回調査より10.0ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

#### ○仕入単価の動き

2017年12月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は2社(20.0%)、「上昇」と回答した企業は8社(80.0%)である。仕入単価判断(DI)は、▲80.0(前期比2.2ポイント減)と悪化が続くこととなった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	2	20.0%	6	60.0%
上昇	8	80.0%	4	40.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(60.0%)、「上昇」と回答した企業は4社(40.0%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲40.0(今回調査より40.0ポイント増)となり、改善するとの見通しとなった。

#### ○従業員について

2017年12月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は2社(20.0%)、「不変」と回答した企業は8社(80.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、20.0(前期比2.2ポイント減)となり、横ばいとなった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	2	20.0%	2	20.0%
不変	8	80.0%	8	80.0%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社(20.0%)、「不変」と回答した企業は8社(80.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、20.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

#### 企業のコメント

- ・ 人が不足する。特に技術職は募集しても集まらない。
- ・ 材料価格、仕入価格の上昇。
- ・ 人手不足。
- ・ 得意先の減少。
- ・ 売上が年々、下降傾向である。仕入が上がった分、お客様にご負担頂くケースもありますが、その場合、大変心苦しい中、ご理解頂けるよう努めなければならないこと。

## 建設業

建設業では、前期より業況は悪化した。売上高はプラス水準ながら悪化となった。仕入単価が3期続けて上昇傾向にあるが、採算は改善され、資金繰りはプラスとなり、改善傾向にある。従業員の不足感は強まっている。

来期については、仕入単価がマイナス水準ながら改善する見通しで、業況、売上高、採算、資金繰りは横ばいとなる見通しである。従業員の人手不足感は解消に向かうとの見通しとなった。

建設業 DI 値の推移（前年同月比）

	前期		今期	来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 12 月期	H30. 1 ~3 月期
業 況	▲ 9.1	7.7	0.0	0.0
売 上 高	9.1	38.5	33.3	33.3
採 算	18.2	▲ 15.4	0.0	0.0
資金繰り	9.1	0.0	11.1	11.1
仕入単価	▲ 45.5	▲ 61.5	▲ 66.7	▲ 44.4
従 業 員	54.5	38.5	44.4	22.2

### ○業況について

2017年12月期の建設業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は9社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。業況判断(DI)は、0.0(前期比 7.7ポイント減)となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	0	0.0%	0
不変	9	100.0%	9	100.0%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は9社(100.0%)、「悪化」と回答した企業0社(0.0%)である。来期予想業況判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)と横ばいで推移する見通しとなった。

### ○売上高の動き

2017年12月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は4社(44.4%)、「不変」と回答した企業は4社(44.4%)、「減少」と回答した企業は1社(11.1%)である。売上高判断(DI)は、33.3(前期比 5.1ポイント減)となり、やや悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	増加	4	44.4%	5
不変	4	44.4%	2	22.2%
減少	1	11.1%	2	22.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は5社(55.6%)、「不変」と回答した企業は2社(22.2%)、「減少」と回答した企業は2社(22.2%)である。来期予想売上高判断(DI)は、33.3(今回調査とかわらず)と横ばいで推移する見通しとなった。

### ○採算の状況

2017年12月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。採算状況判断(DI)は、0.0(前期比 15.4ポイント増)となり、改善された。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	1	11.1%	1
不変	7	77.8%	7	77.8%
悪化	1	11.1%	1	11.1%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)と横ばいで推移する見通しとなった。

#### ○資金繰りの状況

2017年12月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。資金繰り判断(DI)は、11.1(前期比11.1ポイント増)となり、改善された。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	11.1%	1	11.1%
不変	8	88.9%	8	88.9%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、11.1(今回調査と変わらず)と横ばいで推移する見通しとなった。

#### ○仕入単価の動き

2017年12月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「上昇」と回答した企業は6社(66.7%)である。仕入単価判断(DI)は、▲66.7(前期比5.1ポイント減)とマイナスで推移しさらに悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	3	33.3%	5	55.6%
上昇	6	66.7%	4	44.4%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(55.6%)、「上昇」と回答した企業は4社(44.4%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲44.4(今回調査より22.2ポイント増)となり、マイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなった。

#### ○従業員について

2017年12月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は4社(44.4%)、「不変」と回答した企業は5社(55.6%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、44.4(前期比6.0ポイント増)となり、不足感が強まっている。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	4	44.4%	2	22.2%
不変	5	55.6%	7	77.8%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社22.2%、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、22.2(今回調査より22.2ポイント減)となり、不足感の解消に向かうとの見通しとなった。

#### 企業のコメント

- ・ 職人不足、特に大工。
- ・ 土地の仕入価格は、上昇基調が続いている。反面販売価格に転嫁できず、収益圧迫要因は、当面続くと考えます。金融緩和により、調達面は安定しているので、リフォーム事業の増嵩にて収益UPを図っている。

## 小売業・卸売業

小売業・卸売業では、前期より業況判断DIがマイナスに転じた。売上高は横ばいで推移したが、採算、資金繰りがマイナス水準にあるものの、仕入単価とともに好転した。従業員の状況は人手不足感が強まった。

来期については、業況は業況判断DIがマイナスのまま横ばいで推移する見通しであるが、売上高判断DI、仕入単価判断

DIがマイナスとなり悪化する見通しとなった。採算もマイナス幅が拡大し悪化するとの見通しとなった。

小売業・卸売業 DI値の推移（前年同月比）

	前期		今期	来期見通し
	H29. 7月期	H29. 9月期	H29. 12月期	H30. 1 ～3月期
業況	▲ 27.3	0.0	▲ 22.2	▲ 22.2
売上高	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 44.4
採算	▲ 27.3	▲ 28.6	▲ 11.1	▲ 12.5
資金繰り	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 11.1	0.0
仕入単価	▲ 45.5	▲ 57.1	0.0	▲ 33.3
従業員	0.0	0.0	12.5	12.5

### ○業況について

2017年12月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業は2社(22.2%)である。小売業・卸売業の業況判断(DI)は、▲22.2(前期比22.2ポイント減)と悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	0	0.0%	0
不変	7	77.8%	7	77.8%
悪化	2	22.2%	2	22.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「悪化」と回答した企業は2社(22.2%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲22.2(今回調査と変わらず)と横ばいで推移する見通しとなった。

### ○売上高の動き

2017年12月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は7社(77.8%)、「減少」と回答した企業は1社(11.1%)である。売上高判断(DI)は、0.0(前回調査と変わらず)と横ばいで推移した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	増加	1	11.1%	0
不変	7	77.8%	5	55.6%
減少	1	11.1%	4	44.4%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社55.6%、「減少」と回答した企業は4社(44.4%)である。来期予想売上高判断(DI)は、▲44.4(今回調査より44.4ポイント減)とマイナスに転じ、大きく悪化する見通しとなった。

### ○採算の状況

2017年12月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。採算状況判断(DI)は、▲11.1(前期比

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	0	0.0%	0
不変	8	88.9%	7	87.5%
悪化	1	11.1%	1	12.5%

17.5ポイント増)となり、マイナス水準であるが改善した。

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「悪化」と回答した企業は1社(12.5%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲12.5(今回調査より1.4ポイント減)とマイナス水準のまま、やや悪化する見通しとなった。

#### ○資金繰りの状況

2017年12月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。資金繰り判断(DI)は、▲11.1(前期比17.5ポイント増)となり、マイナス水準であるが改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	8	88.9%	8	100.0%
悪化	1	11.1%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査より11.1ポイント増)となり、改善が続く見通しとなった。

#### ○仕入単価の動き

2017年12月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は5社(55.6%)、「上昇」と回答した企業は2社(22.2%)である。仕入単価判断(DI)は、0.0(前期比57.1ポイント増)となり、大きく改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	2	22.2%	1	11.1%
不変	5	55.6%	4	44.4%
上昇	2	22.2%	4	44.4%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は4社(44.4%)、「上昇」と回答した企業は4社(44.4%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲33.3(今回調査より33.3ポイント減)とマイナスに転じ、悪化する見通しとなった。

#### ○従業員について

2017年12月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は1社(12.5%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、12.5(前期比12.5ポイント増)と不足感がでた。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	1	12.5%	1	12.5%
不変	7	87.5%	7	87.5%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は1社(12.5%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、12.5(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

#### 企業のコメント

- ・ 主力商品ラインナップの増加。自社Webサイト更新頻度の向上。

## 飲食業

飲食業では、前期より業況判断DIがマイナス水準ながら改善が見られたが、売上高、採算、仕入単価の各判断DIが悪化した。資金繰りはマイナス水準ながら改善若干の改善が見られた。従業員の不足感はさらに強まった。

来期については、業況は再び悪化するとの見通しである。売上高、採算、仕入単価は改善される見通しとなった。

飲食業 DI 値の推移（前年同月比）

	前期		今期	来期見通し
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 12 月期	H30. 1 ~3 月期
業 況	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 16.7	▲ 33.3
売 上 高	▲ 40.0	0.0	▲ 50.0	▲ 16.7
採 算	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 66.7	▲ 33.3
資金繰り	0.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 16.7
仕入単価	▲ 80.0	▲ 20.0	▲ 66.7	▲ 50.0
従 業 員	20.0	40.0	50.0	50.0

### ○業況について

2017年12月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「悪化」と回答した企業は2社(33.3%)である。飲食業の業況判断(DI)は、▲16.7(前期比23.3ポイント増)となり、マイナス水準であるが改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	16.7%	0	0.0%
不変	3	50.0%	4	66.7%
悪化	2	33.3%	2	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(66.7%)、「悪化」と回答した企業は2社(33.3%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲33.3(今回調査より16.7ポイント減)となり、悪化する見通しとなった。

### ○売上高の動き

2017年12月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は1社(16.7%)、「減少」と回答した企業は4社(66.7%)である。売上高判断(DI)は、▲50.0(前期比50.0ポイント減)となり、大きく悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	1	16.7%	1	16.7%
不変	1	16.7%	3	50.0%
減少	4	66.7%	2	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「減少」と回答した企業は2社(33.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、▲16.7(今回調査より33.3ポイント増)となり、マイナス水準のまま改善する見通しとなった。

### ○採算の状況

2017年12月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は2社(33.3%)、「悪化」と回答した企業は2社(66.7%)である。採算状況判断(DI)は、▲66.7(前期比26.7ポイント減)となり、マイナス幅が拡大し悪化が進んだ。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	1	16.7%
不変	2	33.3%	2	33.3%
悪化	4	66.7%	3	50.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は2

社(33.3%)、「悪化」と回答した企業は3社(50.0%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲33.3(今回調査より33.3ポイント増)となり、マイナス水準のまま改善する見通しとなった。

#### ○資金繰りの状況

2017年12月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(83.3%)、「悪化」と回答した企業は1社(16.7%)である。資金繰り判断(DI)は、▲16.7(前期比3.3ポイント増)と、マイナス水準のまま改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	5	83.3%	5	83.3%
悪化	1	16.7%	1	16.7%

向こう3カ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(83.3%)、「悪化」と回答した企業は1社(16.7%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲16.7(今回調査と変わらず)となり、マイナス水準のまま横ばいで推移する見通しとなった。

#### ○仕入単価の動き

2017年12月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は2社(33.3%)、「上昇」と回答した企業は4社(66.7%)である。仕入単価判断(DI)は、▲66.7(前期比46.7ポイント減)となり、マイナス幅が拡大し悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	2	33.3%	3	50.0%
上昇	4	66.7%	3	50.0%

向こう3カ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「上昇」と回答した企業は3社(50.0%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、50.0(今回調査より16.7ポイント増)となり、マイナス水準ながら好転する見通しとなった。

#### ○従業員について

2017年12月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は3社(50.0%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、50.0(前期比10.0ポイント増)となり、さらに人手不足感が強まった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3カ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	3	50.0%	3	50.0%
不変	3	50.0%	3	50.0%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3カ月の見通しは、「不足」と回答した企業は3社(50.0%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、50.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

#### 企業のコメント

- ・ 集客に課題を感じている。
- ・ 従業員の不足。野菜の値段の高騰による原価の上昇。
- ・ パート、アルバイトを募集してもなかなか応募がない。野菜の価格高騰のため、仕入額が上がってしまった。

## サービス業

サービス業では、前期より業況は改善されたが、売上高、採算が悪化した。資金繰りは改善され、仕入単価もDI値がマイナスであるが改善傾向にある。従業員はやや人手不足感が強まっている。

来期については、売上高、資金繰りで横ばいとなり、採算、仕入単価も悪化し、業況判断DIも再びマイナスに転じ悪化するとの見通しとなった。従業員の不足感は一層強まる見通しとなった。

サービス業 DI 値の推移（前年同月比）

	前期		今期		来期見通し H30. 1 ~3 月期
	H29. 7 月期	H29. 9 月期	H29. 12 月期		
業 況	12.5	▲ 11.1	0.0	▲ 14.3	▲ 14.3
売 上 高	25.0	0.0	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 14.3
採 算	25.0	11.1	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 28.6
資金繰り	12.5	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0
仕入単価	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 28.6
従 業 員	12.5	12.5	14.3	28.6	28.6

### ○業況について

2017年12月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は3社(42.9%)、「悪化」と回答した企業は2社(28.6%)である。サービス業の業況判断(DI)は、0.0(前期比11.1ポイント増)となり、好転した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	2	28.6%	1	14.3%
不変	3	42.9%	4	57.1%
悪化	2	28.6%	2	28.6%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は4社(57.1%)、「悪化」と回答した企業2社(28.6%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲14.3(今回調査より14.3ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなった。

### ○売上高の動き

2017年12月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は2社(28.6%)、「減少」と回答した企業は3社(42.9%)である。売上高判断(DI)は、▲14.3(前期比14.3ポイント減)となり悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	2	28.6%	1	14.3%
不変	2	28.6%	4	57.1%
減少	3	42.9%	2	28.6%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は4社(57.1%)、「減少」と回答した企業は2社(28.6%)である。来期予想売上高判断(DI)は、▲14.3(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなった。

### ○採算の状況

2017年12月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は2社(28.6%)、「悪化」と回答した企業は3社(42.9%)である。採算状況判断(DI)は、▲14.3(前期比

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	2	28.6%	1	14.3%
不変	2	28.6%	3	42.9%
悪化	3	42.9%	3	42.9%

25.4 ポイント減)とマイナスに転じ、悪化となった。

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は3社(42.9%)、「悪化」と回答した企業は3社(42.9%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲28.6(今回調査より14.3ポイント減)となり、さらに悪化するとの見通しとなった。

○資金繰りの状況

2017年12月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は1社(14.3%)である。資金繰り判断(DI)は、0.0(前期比11.1ポイント増)となり好転した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	14.3%	1	14.3%
不変	5	71.4%	5	71.4%
悪化	1	14.3%	1	14.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は1社(14.3%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなった。

○仕入単価の動き

2017年12月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は4社(57.1%)、「上昇」と回答した企業は2社(28.6%)である。仕入単価判断(DI)は、▲14.3(前期比7.9ポイント増)となり、マイナス水準であるが改善となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	1	14.3%	0	0.0%
不変	4	57.1%	5	71.4%
上昇	2	28.6%	2	28.6%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「上昇」と回答した企業は2社(28.6%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲28.6(今回調査より14.3ポイント減)となり、再び悪化するとの見通しとなった。

○従業員について

2017年12月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は6社(85.7%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、14.3(前期比1.8ポイント増)となり横ばいでの推移となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	1	14.3%	2	28.6%
不変	6	85.7%	5	71.4%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、28.6(今回調査より14.3ポイント増)となり、人手不足感が強まるとの見通しとなった。

**企業のコメント**

- ・ 集客が安定してきたが、ベースを底上げしたい。その為の集客の新しい切口を検討中。
- ・ 求人。